

## 感染症対策 顧問挨拶

2020年3月に発生した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ですが、2021年6月現在も、様々な活動の自粛が求められ、テニススクール等を運営されている皆様方も、どのような対策が必要なのか？感染者が発生してしまった時の対応など、多くを悩まれてきているかと思います。

そこには、正しい感染予防対策が講じられていないことが問題としてあります。

そもそも、何が正しい感染予防策なのか？

日本テニスコーチ協会顧問として参加させて頂いた私の実績としては、新型コロナウイルス感染症のスタートでもある、ダイヤモンドプリンセス号の除菌作業に携わらせて頂き、以後、国内のオフィスや店舗・家屋の除菌や、企業等からの依頼を受け、感染予防研修会を200件以上対応させて頂いております。

ダイヤモンドプリンセス号の除菌方法は、WHO・CDC・厚生労働省の公的機関3社が唯一定めた除菌方法であり、外部に公開されていない現実があります。

このノウハウを取得しているのは、この除菌作業に携わった人間のみで、一般社団法人日本特殊清掃隊も数少ない参画団体の一つであります。

このノウハウを基に、昨年9月から開催された、「全国高3テニス Challenge Tournament」でも、私自身が感染症対策の責任者として参加し、大会関係者・選手など、延べ800名以上の動員で、施設（会場）のゾーニング・試合前後の消毒・大会参加前後の体調管理等を監修・実施させて頂きました。

結果、当大会では、一人も感染者を発生させることなく、大会を終えた実績があります。

当協会では、正しい感染症対策法・情報提供、個別相談等を行って参ります。

現在は、新型コロナウイルス感染症の対策が施設運営において、悩まれていることと思いますが、正しい感染予防法の習得をしていただき、今後、新たなウイルスが発生した場合にも、迅速な対応が取れる様、日本テニスコーチ協会で、情報収集をして頂ければと思います。

一般社団法人日本テニスコーチ協会  
感染症対策顧問 神野敏幸  
レリック（日本特殊清掃隊）